

令和5年度 日置市教育委員会定例会(2月)

- 日 時：令和6年2月20日(火) 午後2時00分～午後3時00分
- 場 所：日置市中央公民館 研修2・3(3階)
- 出席者：奥教育長
委 員：内村委員・中島委員・鶴木委員・福田委員
事務局：久木崎(事務局長兼教育総務課長)・中鉢(学校教育課長)
松岡(社会教育課長)・横枕(東市来支所長教育振興課長事務取扱)
迫田(日吉支所教育振興課長)・山下(吹上支所教育振興課長)
宮前(教育総務課長補佐)

1 開会

奥教育長： 日置市教育委員会2月の定例会を始めます。

2 前回議事録の承認

奥教育長： 前回1月の議事録の承認をお願いいたします。変更や修正等はありませんか。

(特になし)

よろしかったでしょうか。

(異議なし)

それでは、1月の議事録は承認とさせていただきます。

【前回の議事録承認】

署名・押印は、内村委員と福田委員をお願いいたします。

3 委員及び教育長の報告

奥教育長： 委員及び教育長の報告です。中島委員からお願いいたします。

中島委員： 先月の定例会以降の活動について、ご報告いたします。

2月17日は南九州美術展特別賞授賞式が開催されましたが、私により欠席させていただきました。その他に行事・出会等はありませんでした。

私事ですが、先般、伊集院の子ども食堂を運営されている代表

の方とお話する機会があり、1月の能登半島地震で被災した子ども達にランドセルの提供をするために、県下の子ども食堂関連の方々が連携を取って活動していると知りました。息子が使っていたランドセルをずっとしまっばなしで、片付けをする度に、なんとか提供できればと思いつつも、なかなか機会が無かったのですが、お話をさせてもらって、持って行ったところでした。

話を聞くと、最近子ども食堂の活動が大分定着してきて、皆さんの中にもご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、本来なら食事等に困窮している家庭の児童への食事の提供が趣旨で、行政と連携を取りながら提供するということでしたが、最近色々と提供する活動をして、子どももですが保護者の方も来て、それが当たり前のように食事をする事が多くあるそうです。

この活動はボランティアなので、提供をして消費していただく部分では、すごくありがたいけれども、という話やせっかく生産者の方が思いを込めて作ったものが提供する場がなく処分されるという話を聞き、大根を2,000本近く霧島の方に取りに行ったという話も伺いました。

その時にも訴えれば集まって、すぐ無くなるんですが、霧島で回収する時の大根を取って洗ってという一連の作業に、いつも人手が集まらない、そこが子ども食堂を運営する上での1つの課題で、提供を受ける側と提供をする側のギャップがあるという話を聞きました。

個人としても、貰うのはすごくありがたいことなのに、それが当たり前になる時もあるかもしれませんが、準備する側の事を考えてみる必要があるのかなと思いました。

幸いにも、冒頭に言いましたが、息子のランドセルが被災した子どもの手に渡って、また使ってもらえればいいなと家族でも話したところでした。以上です。

奥教育長： ありがとうございます。鵜木委員、お願いいたします。

鵜木委員： それでは報告させていただきます。

1月20日に吹上砂丘荘で開催されました第18回日新公いろは歌かるた取り大会を観に行きました。駐車場が満杯で、探すのに苦労するほど多くの方が来場していました。

今年は低学年の部に31人、中学年の部に18人、高学年の部に12

人の計61人の参加がありました。初めに高学年の部の予選を参観しました。4人ずつ3つのグループに分かれていましたが、中学生の読み手が読んだ下の句に素早く反応して上の句の絵札を取る女子児童の姿に引き付けられました。その児童は、いろは歌が生活の一部として定着しているのだろうと思い感心することでした。

続いて、低学年と中学年が予選を行っている部屋に移動して様子を観させていただきました。こちらも白熱した試合が展開されていました。審判員として、県議会の元山議員や市議会の議員さん達も協力されていて、青少年の健全育成を図る吹上の一大イベントとして定着しているなど感じました。

その後、伊集院の中央公民館へ移動して、青少年のための科学の祭典に参加しました。中ホールや和室、ロビー等に24のブースが設置されており、多くの参加者がそれぞれのブースで楽しそうに活動をしていました。

いずれのブースも興味深かったのですが、私が特に興味を持ったのは、鹿児島大学が設置した「人工イクラをつくろう」のコーナーと土橋小学校が設置した「浮く・まわる風船」のコーナー、それから妙円寺小学校サイエンスクラブが設置した「ロープの科学」のコーナーでした。

「人工イクラをつくろう」のコーナーは、昆布などの海藻に含まれる成分と押し入れなどで使う除湿剤に含まれている成分の水溶液を混ぜ合わせることで凝固する性質を利用したものでした。混ぜ合わせる時に、食用色素の赤色と黄色を加えると本物のイクラと見間違ふほどの出来栄でした。お皿の上に置かれていたら試食してしまうのではないかと思うほど良くできていましたが、「絶対に食べてはいけません!!」と注意書きがしてありました。

「浮く・まわる風船」は、膨らませた風船12個を輪のように繋げて、そこにドライヤーで風を当てると、くるくる回り続けるというものでした。幼稚園生くらいの子どもが挑戦している姿を保護者が微笑ましく眺めている姿が印象的でした。このような不思議な経験をすることで、科学への興味が芽生えるのだろうと思いました。

「ロープの科学」のコーナーでは、実際にロープワークを体験

させてもらいました。色々な結び方があって、すぐには覚えられませんが、少しずつでも練習を続けたいと思いました。

また「ミニ・ドローンの操縦体験」のコーナーもあったのですが、多くの希望者が順番を待っていたので体験するのを諦めました。

2月17日は、南九州美術展特別賞授賞式に出席しました。会場に着いた時に時間的に余裕があったので、授賞式に出席する前にロビーや中ホールに展示してある作品をゆっくりと鑑賞することができました。

授賞式では、初めに永山市長があいさつをされ、出席者へのお祝いの言葉と関係者へのねぎらいの言葉を述べられ、「この美術展は昭和26年に門松周一先生が子ども達の情操教育の一環として始められ、犬童次男先生に意思が引き継がれ、今では県内でも大規模な美術展として育ってきている。美術教育の発展のために今後も継続していきたい」と話されました。

続いて審査講評に移り、美術の部では2,892点の応募作品が寄せられ、4人の審査員で48の特別賞を決定したことを話され、「応募された作品は大きな構図で作者の意図が生き生きと表現されている。そのことに感動した」と述べられ、知事賞を受賞した小学校1年生の絵を示しながら、その絵から感じ取った印象について話されました。

続いて、書道の部の審査をされた先生が「ICTの普及で最近では文字を書く機会が少なくなり、文字はキーボードで打つようになってきた。そのような中でも、書道においてはお手本をしっかりと見て、文字の大きさなどを考えて書くことが大事で、人の作品の良いところを探してみることも大事だ」と言われ、さらに「筆をしっかりと洗えているか、硯はどうか。毎日使う道具だから使ったら綺麗に洗うようにしよう」と話されました。

続く並松市議会議長の祝辞に続き、受賞者一人一人が呼名を受けながら、表彰が始まりました。

閉会のあいさつで教育長が、美術展には合わせて4千点の応募があったことを紹介され、その中から選ばれた受賞者へのお祝いの言葉と関係者や協賛者へのお礼を述べられ、「来年も応募してほしい」と結ばれ、授賞式が終了しました。以上でございます。

奥教育長： ありがとうございます。福田委員、お願いいたします。

福田委員： 報告させていただきます。

2月3日に、第43回吹上地域女性大会に参加させていただきました。オープニングでは吹上音頭を舞台上で踊ったり、客席の方々は手踊りをしたりしていました。そこから始まって、各女性団体の方々の発表なども聞くことができました。コロナ前と同じように1年間の活動がしっかりとできている様子でした。

2月7日は、高齢者虐待防止ネットワークに参加させていただきました。日置市でも虐待の実態があるということでしたが、虐待の線引きがとても曖昧で、身体的だったり心理的だったりするので、その辺の線引きが難しいなと思いながら聞いたところでした。虐待を受けた方、虐待をしてしまった方のその後のケアがとても大事なんだなと思いました。

2月17日に、南九州美術展の授賞式に参加させていただきました。私も少し早く着いたので、作品を見せていただきました。1番、目に留まったのは書道で、とても力強く書かれていて、何年生なんだろうと思うと小学生だったりして驚きました。

絵の方も見せていただきましたが、色々なタッチで描かれていて、素直な心で見たのがこんな感じなんだろうなと思いながら見て回っていると、中学生の頃に学校の絵の大会で金賞を貰ったことを思い出しました。小さな金のテープだったんですが、そういうことを思い出す良い機会になりました。

実は美術展の前にフラワーゴラッドのバレーの試合を見ようと思いき、体育館に行きましたが、立見席も売り切れだと言われてしまって、体育館の外から歓声だけ聞いていました。すごい歓声から次に上がるので、「これは勝ってる」と思って聞いてみると、鹿児島人はすごく優しく、相手が入れてもすごい歓声を上げるんだそうです。どちらが得点を取ったのかも分からないまま、私達は歓声を外で聞いていましたが、係りの方に「だいぶ競っているよ」という話を聞いて、表彰式へ移りました。後で聞くと、勝っていたので良かったです。

3月18日、県下一周駅伝の応援を沿道でさせていただきました。皆さん楽しみにされていたようで、たくさんの方が応援に来てくださっていました。もちろん日置チームの時には大きな歓声

が上がっておりましたので、私も「がんばれ!がんばれ!」と言ってきました。以上でございます。

奥教育長： ありがとうございます。内村委員、お願いいたします。

内村委員： 報告させていただきます。

1月20日の青少年のための科学の祭典は鶴木委員が述べられましたので私からは割愛しますが、1点だけ言いますと、入口付近に無線クラブのブースがありましたが、1月の能登半島地震で、孤立している地域や携帯電話が繋がりにくい状況の中、非常通信に有効なアマチュア無線に注目が集まったと話されておりました。

2月13日は、吹上高校の学校関係者評価委員会に出席しました。瀧校長より、「3年生51名全員が就職・進学が決まり、2月からは自宅学習で3月1日の卒業式を待つばかりです。1・2年生も楽しく高校生活を過ごしています。今後、積極的かつ自発的に行動する吹高生になってほしい」とあいさつがありました。

その後、各部の主任から取組と課題について説明がありました。教務部からは「夏休み体験入学に参加して入学に繋がっている割合は36%である。また、夜の学校説明会に参加して、入学に繋がっている割合は57%であり、約半数が入学に結びついている」とのことでした。その他の特徴として「5年度入学生は南さつま市の万世中学校出身者が増えた。中学3年時に本校職員が出前授業を3回行ったことが入学生の増に結び付いた」と言われました。

進路指導部からは「就職は34名で県内就職が21名と多く、中でも日置市管内が10名と目立った。求人件数は2,946件で昨年より450件と大幅に増えた。これは景気が回復してきたことより、少子化による人手不足のためである。今まで付き合いのあった会社が、生徒減に伴い疎遠になってきている」と言われました。

その後の意見交換では、最近では私立高校に不合格の生徒が増えてきているということで、私立高校は中学3年間の成績、出席数を見て、かつ面接を実施し、可否を判断するので、高校を目指した確かな目標を持たせる中学3年間の学業の指導がとても重要であると再確認しました。

2月17日は日吉地域史跡巡り歩こう会で、今年は川西地区の探訪に参加しました。当日は天気に恵まれて、日吉学園の児童生徒

1年生から9年生までと保護者の100名を超える参加者が2班に分かれて探訪しました。

最初に和田社会指導員が「以前、中高生の海外派遣事業の担当をしていた時、中高生がホームステイ先で『あなたの地域の歴史や文化は何ですか』と問われた時、何も知らずに言えなくて恥ずかしかった」と説明され、「今日はしっかりと学んでください」と言われました。

川西校区の史跡(医王宝殿から桂山寺跡、赤山鞠負の墓、熊野神社、看経所、石屋和尚、手彫りの石地藏、御仮屋跡、光禅寺跡)の8カ所を見学し、2時間歩いて由来等を学び、郷土に対する認識を深める素晴らしい体験と勉強になったことでしょう。

支所に帰りついた後、会議室で今日回った史跡の写真を見ながら説明を受けて、しっかりと振り返り、まとめをしました。とても良い雰囲気と自然環境の中、参加賞やお弁当を貰って、皆さんが喜んで帰られました。

2月19日は県下一周駅伝の2日目で、2区中継所のサポートをしました。選手は沿道の多くの方々から熱い声援を浴びて激走し、ゴールで次走者に襷を繋ぐと同時に倒れこんだので、私は転倒しないように必死に受け止めながら「よく頑張ったね」とねぎらいの言葉をかけました。

出走前の伊佐チームの選手と語ると、なんと46歳の選手で、走って来る選手は48歳と言われ、2人で94歳でした。長く苦しい選手生活を続ける選手に尊敬の念と、伊佐チームの駅伝の襷を絶やさないようにとの心意気に心から大きなエールを送りました。

「明日も頑張れ!」と。私からは以上です。

奥教育長： ありがとうございます。重なる部分は申し上げますので、私の方からは2点ご報告いたします。

2月14日、市のコミュニティ・スクールの学校運営協議会の推進協議会を開催いたしました。例年ですと、この会では学校運営協議会の状況について専門家の話を聞いたり、各コミュニティ・スクールの状況を報告し合って、今後の自分の所の協議会の運営に生かしていくというスタイルで行っていましたが、今年はいわゆる文部科学省の不登校特例校「学びの多様化学校」のマイスターをお呼びして、ご講話を頂きました。

学びの多様化学校はさほど増えておりませんが、国は全国で300校作りたいたいということです。鹿児島県では唯一鹿児島城西高校に1校あるのみという状況でございます。私達も作る計画はありませんが、今後の参考にしたいということでお呼びいたしました。大変参考になるお話が伺えたと思います。

私達の市も不登校の子ども達が非常に多いという現実がございますので、その話を参考にして地域の方々と一体となって取り組んでいければいいなと思うところがございます。条件を整えば日置市内にもそういう学校ができてもいいのかなという思いはあります。

県の方で再来年から開陽高校に開校します夜間中学は「いろは中学校」という名称が付いておりますが、これもこの講師の先生が手掛けておられるということで、大変注目されているようです。

2月15日は、国民体育大会燃ゆる感動かごしま国体の市の実行委員会の第8回目の総会でした。最後の総会ということで、解散の会でしたが、これが無事に終了いたしました。準備を始めてから6年になりますが、松岡課長が当初から携わっておられました。長い間関わっていただいた皆様に感謝するところですし、この国体の思い出、経験をぜひ来年から始まる国民スポーツ大会を始め、今後の色々なスポーツ振興に生かしていければと思います。以上でございます。

4 議事

【報告第22号 令和6年度日置市一般会計当初予算の市長への意見具申について】

奥教育長： 報告第22号令和6年度日置市一般会計当初予算の市長への意見具申について説明をお願いいたします。

久木崎局長： 1ページになります。報告第22号令和6年度日置市一般会計当初予算の市長への意見具申について説明いたします。

令和6年度日置市一般会計当初予算について意見を求められ、臨時に代理し、別紙のとおり回答したので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第2項の規定によりこれを報告するものでございます。

令和6年度の一般会計当初予算ですが、市全体で過去最大の308億2,000万円となりました。前年度と比較すると10億3,900万円の増となっております。主な要因は、脱炭素先行地域づくり事業費や子育て支援に要する経費の増額、賃金上昇、少子高齢化による人件費、社会保障費の増加や物価高騰による物件費の増加でございます。

それでは、教育委員会の概要について説明いたします。15ページをお開きください。10款教育費で、総額23億2,485万円とするものでございます。令和5年度の当初予算22億8,601万2,000円に対しまして、前年対比1.6%増で、3,883万8,000円の増額となっております。

項ごとの主な増減について概要を説明いたします。34ページをお開きください。ここからが教育委員会の予算説明書となっております。

1項教育総務費は34ページから37ページにかけて掲載してございます。主なものだけ説明いたします。合計3億954万5,000円で、前年度が2億6,170万9,000円となっており、前年度より4,783万6,000円の増額で、18.2%増となっております。主な要因は人件費ですが、令和6年度では教育振興基本計画策定委員会、通学費及び通学方法等の検討会議を立ち上げて、検討する計画となっております。

次に37ページをお開きください。37ページから39ページにかけて、2項小学校費となっております。小学校費は6億7,502万2,000円、前年度が5億4,933万1,000円となっており、前年度より1億2,569万1,000円の増額で、22.8%増となっております。この小学校費は、新たなもので水泳授業を民間施設で行う経費、また妙円寺小学校の照明設備改修工事、それから昨年度から取り組んでおります伊集院小学校増築に関する工事請負費が主なものとなっております。

39ページをお開きください。39ページから42ページにかけて、3項中学校費でございます。中学校費は2億6,643万1,000円、前年度が2億5,252万円で、前年度より1,391万1,000円の増額、5.5%増となっております。中学校費につきましても、人件費が主な要因でございます。伊集院北中学校の屋内運動場の大規模改修設計

業務や中学校の維持補修に係る工事を行ってまいります。

42ページから43ページの幼稚園費でございます。4項幼稚園費は6,580万8,000円、前年度が6,509万8,000円で、71万円の増額となります。令和6年4月1日から東市来幼稚園に統合するため、維持管理経費は削減されますが、新たな事業として園舎の屋上防水工事等を実施してまいります。

52ページから53ページにかけて、6項保健体育費6億3,240万円のうち2億7,330万円が給食センターの経費となります。前年度と比較して、工事請負費等の減額により1,394万3,000円の減となりました。物価高騰対策に係る給食への補助金は継続して実施してまいります。

返りますが、44ページから49ページにかけて、5項社会教育費3億7,564万4,000円、前年度が4億1,668万4,000円で4,104万円の減額となっております。これは昨年度実施した吹上歴史民俗資料館の改修工事等が今回減額されたことで大幅な減額となっております。また今年度は、市来鶴丸城の緊急調査事業を実施し、保存へ向け検討することになっております。

50ページから53ページにかけて、6項保健体育費6億3,240万円は給食センター費を除く3億5,910万円となっております。9,432万3,000円が減額となります。この減額の主な要因は、特別国民体育大会が終了したことによるものです。保健体育費は来年度、伊集院総合運動公園の野球場の改修工事、同じく陸上競技場のメインスタンドの改修設計等を計画しております。

54ページになります。文教施設災害復旧費で市来鶴丸城跡地の土砂流出除去に係る施設維持修繕料100万円を計上しております。

以上が歳出における教育委員会当初予算の概要でございます。次に歳入について主なものを説明いたします。

17ページをお開きください。13款2項2目教育費負担金、4節学校教育費負担金は日本スポーツ振興センター、これは保険に係る経費で、保護者の負担分168万8,000円を計上してございます。

18ページです。14款1項7目教育使用料でございます。学校、社会教育施設及び社会体育施設等の使用料636万円を計上してございます。

20ページになります。15款1項3目教育費国庫負担金、1節学

校建設費国庫負担金5,518万4,000円は伊集院小学校増築工事に係る国庫負担金となります。2節幼稚園費国庫負担金は未移行幼稚園の利用者に対する交付金90万6,000円、合計で5,609万円を計上してございます。

21ページでございます。15款2項7目教育費国庫補助金、1節小学校費国庫補助金1,479万5,000円は要保護児童の修学旅行費、特別支援教育就学奨励費等、及び小学校施設環境改善交付金は妙円寺小学校の照明改修工事に係る国庫補助金等になります。

22ページをお開きください。2節中学校費国庫補助金237万7,000円は、中学校分の要保護児童修学旅行分、特別支援教育就学奨励費等の国庫補助金になります。6節社会教育費国庫補助金は、先程説明しました市来鶴丸城跡確認調査に係る国庫補助金100万円計上してございます。

23ページになります。16款1項4目教育費県負担金、1節幼稚園費県負担金は未移行幼稚園に係る県負担金45万3,000円を計上してございます。

24ページをお開きください。16款2項6目教育費県補助金、1節社会教育費県補助金は学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金22万6,000円、鹿児島県指定文化財保護事業費県補助金15万9,000円を計上してございます。3節教育総務費県補助金は地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費県補助金56万2,000円、教員業務支援員配置事業費県補助金113万3,000円、合計169万5,000円を計上いたしました。

32ページ、22款1項6目教育債でございます。1節学校債は伊集院小学校増築工事に係るもので6,680万円、2節社会教育債は東市来図書館の受変電設備等の取替工事に係る1,780万円、3節保健体育債は伊集院総合運動公園の野球場改修工事に係る7,150万円を計上しております。以上で歳入の説明を終わりますが、詳細は予算説明資料を添付してございますので、後ほど確認をお願いいたします。

続いて別冊の令和6年度当初予算の概要の教育委員会分について、主な事業の説明をいたします。

26ページをお開きください。(4)教育・文化・スポーツ【豊かな心と感性を育てるまちづくり】の主要な事業について説明いたし

ます。

まず学校教育課関係ですが、26ページの2番目です。歳入で触れましたが、継続で教員業務支援員配置事業でございます。この事業は昨年度から行っており、学校や教員が直面する課題が多様化・複雑化して長時間労働に繋がる傾向にあるため、教員がより子ども達への指導や教材研究に注力できるように、学習プリント等の準備・採点などの教員業務の支援員を配置するものでございます。

昨年度は1校に1名配置しておりましたが、6年度では2校に2名、現時点では伊集院小学校に1名、伊集院中学校に1名配置する計画です。

次に4番目、小学校水泳授業民間委託実証実験事業でございます。先程も触れましたが、学校のプールは夏場の短期間の使用ですが、維持管理経費が多分に係るものが課題となっております。今回、民間施設のプールで水泳授業を実施し、課題整理を行い、可能な学校は順次民間を使った水泳授業に取り組んでいきます。

今は市内で3校検討しており、現状では上市来小学校、飯牟礼小学校は飯牟礼にあるアクアアカデミーで水泳授業を行えないか検討に入っております。それから、吹上地域の花田小学校は吹上のゆーぷる吹上で水泳授業を行えないか検討したいと思っております。こういう新たな取組を始めております。

5番目の部活動地域移行モデル事業でございます。令和8年度の休日の部活動地域移行スタートに備えて、2つの部活動をモデル事業として来年度、実施します。野球部で複数校にまたがったチームの地域移行、それから東市来のサッカー部は既に地域の方々が指導に携わっているものですが、この2つを正式なモデル事業として実施し、課題整理等を行いたいと考えております。

他の事業でも、継続事業で特別支援員の配置事業、それからパソコン導入事業等も引き続き積極的な取組を進めたいと考えております。

続いて教育総務課関係です。開けて9番になります。妙円寺小学校の照明設備改修工事でございます。照明器具をLED化する工事を行っており、予算額で3,550万円を計上しております。

10番目です。継続事業として伊集院小学校校舎増築事業です。

令和4年度から駐車場整備に着手しており、小学校における1学級35人制へ対応するために増築工事を年次的に進めたいと考えております。令和6年度で整備が終了となります。

12番目です。前年度も計上しておりますが、給食食材でも物価高騰の影響を受けており、令和5年度から給食費の値上げを行っております。令和6年度でも物価高騰に対する補助と給食費の負担軽減を図るために児童生徒1人1月当たり小学生1,400円、中学生1,450円の補助を行ってまいります。総額5,731万円の予算を計上し、保護者の負担軽減を図ってまいります。

その他にも学校等の施設維持補修を計画的に行い、安心安全な教育環境を整備していく計画でございます。

次に社会教育課関係で、27ページの一番下段です。14番、伊集院総合運動公園陸上競技場メインスタンドの施設維持のため、設計業務593万8,000円を計上しております。

次のページの15番、野球場は施設維持保全のため、大規模改修工事7,952万8,000円を計上しております。

その他にも青少年海外派遣事業等についても、積極的に取り組んでまいります。

概要の主要事業についての説明を終わります。よろしくお願いたします。

奥教育長： ありがとうございます。令和6年度日置市一般会計当初予算について説明をいたしました。明日から始まる議会に提案をする段取りになっております。

ご質問はございませんでしょうか。

鵜木委員： 1つよろしいでしょうか。

予算説明資料を見せていただくと、18ページの10款1項2目1節の中の教育指導費で、学校教育指導官が2人となっています。今は大迫指導官がお1人ですが、来年からは2人になるということですか。

奥教育長： この予算が通りましたら大迫指導官と同じ立場の方をもう1人増員しようと考えています。

鵜木委員： 今年、どこかの校長などを退職なさる方ですか。

奥教育長： そこは分かりませんが、相応しい方をお願いしたいと思っております。

鵜木委員： 定年は少し延びますので、既に退職なさっている方かもしれませんね。

奥教育長： そうですね。そういうことになろうかと思えます。

これが通りましたら、割愛で来られている指導主事の方々は変わりませんが、指導官という立場の方を増員して、新しく増えた部活動の問題や生徒指導の問題、GIGAスクールの今後の方針などの様々な課題について、しっかり対応していくという趣旨でございます。

鵜木委員： 県に要望してもなかなか認められないので、市の方で予算を取られて、こういう形でしていただくのが有難いのかなと思えます。

奥教育長： そうですね。いずれにしても市の方に助けていただかないと、できないところですね。

鵜木委員： 分かりました。ありがとうございました。

奥教育長： 他にはございませんか。

内村委員： 55ページの民族芸能伝承活動支援事業に1,100万円ほど上がっていますが、これは今後何年間かは継続されるのでしょうか。

松岡課長： 民族芸能伝承事業につきましては、3年間を一区切りとして続けてまいりました。6年度から向こう3年は実施しようということで予算を計上しております。

ただ中身については、見直しの検討に入っている状況です。伝統継承ではなく青少年健全育成の分野と考えられるものは、予算を換えて支援を行うとか、指定文化財でも市指定や県指定などがございますので、その見直しも図っております。

奥教育長： 現時点では予算上は継続と考えておりますが、やや縮小する方向で見直しつつ継続していくというところだと思います。

内村委員： 分かりました。ありがとうございました。

奥教育長： よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは報告第22号は、原案のとおり承認することとしてよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは報告第22号は、原案のとおり承認されました。

【報告 第22号 承認】

【議案第8号 令和5年度日置市教育委員会点検・評価報告書について】

奥教育長： 議案第8号令和5年度日置市教育委員会点検・評価報告書についてご提案いたします。

久木崎局長：55ページになります。議案第8号は日置市教育委員会点検・評価報告書についてであります。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、日置市教育委員会点検・評価報告書を作成したことから、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第10条第1項第18号の規定により提案するものでございます。

この評価は国において「結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていく趣旨から行うもの」としております。

市教育委員会では、こうした趣旨に照らし、教育施策の点検・評価を住民に分かりやすく明確に示す意味からも、日置市教育振興基本計画内の施策における対象事業を点検・評価することにしております。令和5年12月18日に日置市教育委員会外部評価委員会を実施しまして、本年度は80ページから99ページの10事業について審議を頂きました。

それでは結果について、概要を説明いたします。

80ページをお開きください。最初に子ども支援センターの充実についてでございます。事業の充実・拡大が必要であるとの評価を受けております。相談体制強化のための予算を充実して、複雑化・多様化し、増加する相談に対応するようご意見を頂いております。

82ページでございます。学力向上に向けての取組の充実につきましても、事業の充実・拡大が必要であるとの評価を頂いております。「学力向上に向けた取組について、どれほどの予算を計上しているかを把握・整理する必要がある」とのご意見を頂いております。

84ページをお開きください。保・幼・小・中・高連携の推進についてでございます。これも、事業の充実・拡大が必要であるとの評価を受けております。「個に応じた支援についても連携して対応してほしい」とのご意見を頂いております。

86ページになります。体力向上に向けての取組の充実について

でございます。事業の現状維持で継続が必要であるとの評価を受けております。「体力運動能力調査における結果を踏まえた課題解決に取り組んでほしい。また、幼・保を含めた取組を検討してほしい」とのご意見を頂いております。

88ページです。環境教育の充実では、事業の充実・拡大が必要であるとの評価でございました。「日置市環境ブックの改訂に合わせ、脱炭素社会の実現に向けた内容も盛り込んで、環境教育の一層の充実を図ってほしい」とのご意見を頂いております。

90ページでございます。学校給食の適正かつ円滑な推進については、事業の一部見直し・改善が必要であるとの評価を受けました。「地場産業の活用について、積極的活用に向けての取組が必要で、また老朽化している給食センターについては早急な検討を進めるようご意見を頂いております。

92ページです。学校規模の適正化については、事業の現状維持で継続が必要であるとの評価を受けております。来年度から通学区の見直しの検討を始めてまいります。

94ページでございます。生涯学習の充実・強化については、事業の現状維持で継続が必要であるとの評価を受けました。国際交流員等を活用した講座等の充実を行うようご意見を頂いております。

96ページです。情報教育の推進及び機器の充実については、事業の充実・拡大が必要であるとの評価を頂いております。今後、デジタルコンテンツの整備について積極的な検討を行うようご意見を頂いております。

98ページです。社会体育施設等の充実及び利用促進については、事業の一部見直し・改善が必要であるとの評価を受けました。「いつでも、どこでも、だれでも」スポーツに親しむことのできる環境を様々な手法を用いて維持していただきたいとのご意見を頂いております。

この結果、事業の充実・拡大が必要である事業が5事業、事業の現状維持で継続が必要である事業が3事業、事業の一部見直し・改善が必要である事業が2事業という評価を受けております。また、廃止に該当する事業はございませんでした。以上で説明を終わりますが、詳細は後ほど資料をご確認ください。

奥教育長： ありがとうございます。

現在の第3期日置市教育振興基本計画に基づきまして、内容を評価していただいております。この第3期は来年までで、再来年からは第4期になります。これまでの評価を受けて来年度、見直しをする予定にしております。

では、ただ今説明がありました点検・評価報告書につきまして、ご質問はございませんでしょうか。

鵜木委員： よろしいですか。資料の74ページですが、社会体育施設等の充実及び利用促進の下にある表に、ネーミングライツ事業とあります。この内容の欄に「社会体育施設への愛称の付与を通じ、市民がスポーツに親しみ健康づくりを行うためのスポーツ大会を開催する」とありますが、何か今、開催されているのでしょうか。

松岡課長： ネーミングライツ事業につきましては、今までは伊集院総合運動公園の小鶴ドームが1カ所でしたが、今年度から新たに募集をかけているところです。現在、体育施設では東市来総合運動公園、それから伊集院総合運動公園の陸上競技場、東市来の湯之元球場も決まっております。

ただ、ネーミングライツを利用したスポーツ大会は、これからになります。小鶴ドームでは例年、サッカーの大会等や村田兆治さんの野球教室を実施していましたが、現在はネーミングライツ料の額が下がり、事業実施ができない状況になっております。新たなネーミングライツの施設については、スポンサーの方と協議をしていく形になります。

鵜木委員： 評価でも「事業の一部見直し・改善が必要である」となっていますので、ネーミングライツ事業に冠を付けた形で何かできればいいなと思います。

関連してですが、74ページの表の一番下に「梅マラソンジョギング大会」とありますが、3期計画が来年度までということでこの名前が生きているんですか。評価表では「みんなのYUMEタイムトライアル」となっています。

久木崎局長： これは計画をそのまま載せております。今の実事業としては「みんなのYUMEタイムトライアル」に移行しております。

鵜木委員： 今年度まではこの形なんですね。

久木崎局長： 来年度、計画変更時に変わります。

鵜木委員： 了解しました。

奥教育長： 先程のネーミングライツについては、既に発表もしておりますので少しご紹介すると、東市来総合運動公園は「みなみの風総合運動公園」、湯之元球場は「中村商会スタジアム」、伊集院総合運動公園の陸上競技場は「あいハウジング陸上競技場」となっています。また、東市来文化交流センターも「下野建設文化ホール」と来年度から名称が付く予定でございます。

他にも増える可能性がありますね。

松岡課長： はい。引き続き募集をしております。

鵜木委員： ネーミングライツを使って、スポンサーの名前が付きますが、なかなか私達はそういう名前と呼ばれると分からないんですね。宝山ホールは最近になって分かるようになりましたが、市民文化ホールもネーミングライツで川商ホールとなっています。どこだろうなと思いますので、ネーミングライツも大切ですが、使う時は括弧で元の名前を書いていたいただきたいですね。

奥教育長： 馴染むまではそういう補足は当然必要だろうと思います。そこも含めて指定管理の方々とも連携を取りながら進めてまいりたいと思います。

他にございませんか。

(特になし)

よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは案の段階ですが、議案第8号は、原案のとおり議決とさせていただきます。よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは議案第8号は、原案のとおり議決いたします。

【議案 第8号 議決】

【議案第9号 日置市立学校給食センター管理運営規則の一部改正について】

奥教育長： 議案第9号日置市立学校給食センター管理運営規則の一部改正について提案をお願いいたします。

久木崎局長： 101ページをお開きください。議案第9号は日置市立学校給食センター管理運営規則の一部改正についてでございます。日置市立飯牟礼幼稚園と日置市立土橋幼稚園の廃止に伴い、伊集院学校給

食センターの対象校を変更するため、規則の一部を改正したいので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第10条第3号の規定により提案するものでございます。

次のページの別紙をお開きください。第2条の表中「日置市立飯牟礼幼稚園」及び「日置市立土橋幼稚園」の項を削るものです。附則として、この規則は令和6年4月1日から施行するものでございます。以上でございます。

奥教育長： ありがとうございます。

幼稚園の統合に関連しての規則改正でございます。
よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは議案第9号は、原案のとおり議決とさせていただきます。
よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは議案第9号は、原案のとおり議決いたします。

【議案 第9号 議決】

【議案第10号 日置市立幼稚園規則の一部改正について】

奥教育長： 議案第10号日置市立幼稚園規則の一部改正について提案をお願いいたします。

久木崎局長：105ページになります。議案第10号は日置市立幼稚園規則の一部改正についてであります。日置市立飯牟礼幼稚園と日置市立土橋幼稚園の廃止に伴い、規則の一部を改正したいので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第10条第3号の規定により提案するものでございます。

次のページの別紙をお開きください。第2条については、定員を35人に改めて、次のページの新旧対照表のとおり各号を削るものでございます。各号というのは、日置市立東市来幼稚園から日置市立土橋幼稚園の項でございます。

第4条は3歳児保育を始めるに当たり「3号に小学校就学の始期に達する前3年間の幼児 3年」を加えるものでございます。

第6条第2項は、日置市立飯牟礼幼稚園及び日置市立土橋幼稚園の項を削るものでございます。

附則としまして、この規則は令和6年4月1日から施行するも

のでございます。以上で説明を終わります。よろしくお願ひいたします。

奥教育長： 先程と同様に幼稚園の統合に伴う規則改正でございます。ただ今説明がありました日置市立幼稚園規則の一部改正につきまして、ご質問はございませんでしょうか。

(特になし)

それでは議案第10号は、原案のとおり議決とさせていただきますよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは議案第10号は、原案のとおり議決いたします。

【議案 第10号 議決】

5 その他

- (1) 事務局長
- (2) 学校教育課長
- (3) 社会教育課長
- (4) 各支所教育振興課長
 - ア 東市来支所長教育振興課長事務取扱
 - イ 日吉支所教育振興課長
 - ウ 吹上支所教育振興課長
- (5) その他

6 閉会

奥教育長： それでは日置市教育委員会2月の定例会を終了いたします。

終了

署名委員 新木親志 

署名委員 中島辰矢 